

2018年 面河山岳博物館 秋の企画展

モズのはやにえ

里山に生活する野鳥・モズは、バツタやカエルなどを捕まえ、トゲや木の枝に突き刺したままにしておくという不思議な習性をもっています。これは「**モズのはやにえ**」と呼ばれ、何のために行われているのか、その理由には明確な答えは出ていません。「冬の貯蔵食」「なわばりの誇示」など複数の説があり、現在も研究が進められています。

今回の企画展ではモズの生態やこの変わった習性について、標本・模型・写真・解説パネルで紹介します。モズとはやにえの存在を通して、身近な自然に興味をもってもらえれば幸いです。



メス個体（松廣浩二氏撮影）



左：高鳴き、右：求愛行動（横田靖氏撮影）

【展示内容】

■モズってどんな鳥？生態写真、剥製、骨格標本展示

躍動感ある飛翔やホバリング、捕食や子育てシーンなど、貴重な写真で生態を紹介。小さな猛禽とも呼ばれるモズ。剥製と骨格標本からは、その強力なくちばしと爪をじっくり観察することができます。



稲の上でホバリング（松廣浩二氏撮影）

■貴重な「高鳴き」「食事シーン」の動画

秋になわばりを守るため「キィーキィーキィー」や「キュン、キュン・・・」と高鳴きと呼ばれる声で鳴きます。これを聞けばあなたも、ああ～あれがモズね！と膝を叩くかも。バツタを食べる珍しい動画もあります。

■愛媛のモズの分布とその特徴

里山にすむといっても実際には愛媛のどんなところにすんでいるの？日本野鳥の会愛媛の観察データを基に、その分布を紹介します。

■はやにえって何？はやにえの標本・写真 200 連発！

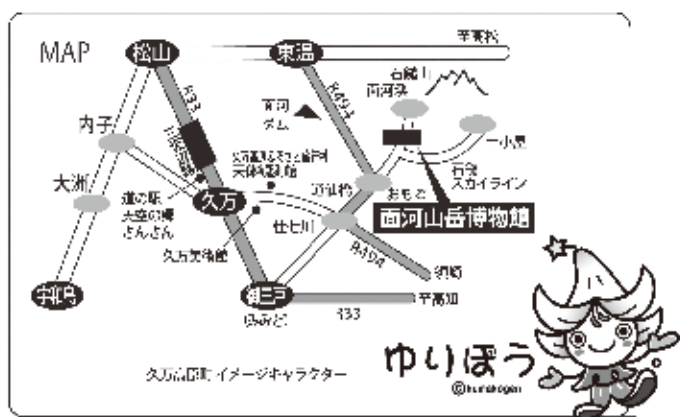
はやにえになった様々な動物の標本（伊丹市昆虫館コレクション）と写真を展示。バツタを木の枝に刺す決定的瞬間の写真も公開します。なぜ、こんな不思議な行動をするのか？最新の研究成果も解説。

■善意のはやにえ写真

持ち主不明の落し物が木の枝や柵の上に引っ掛けられている状態、これを「善意のはやにえ」と呼びます。巷にあふれるこの不思議な現象を約 50 点の写真で紹介。



左：座布団の落し物、右：ニット帽の落し物（吉永健一氏撮影）



◆面河山岳博物館へのアクセス◆

【自家用車】松山 I.C より国道 33 号線を高知方面に直進 50 分。旧美川村御三戸交差点を面河溪谷方面に左折後直進 30 分。面河溪谷の入口右側。

【バス】JR 松山駅から約 2 時間（久万にて伊予鉄南予バスに乘換えあり）。※詳しくは伊予鉄南予バス久万営業所 0892-21-0018 までお問い合わせください。

◆お問い合わせ先◆

〒791-1710 愛媛県上浮穴郡久万高原町若山 650-1

電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

H P：http://www.kumakogen.jp/site/omogo-sangaku/

ブログ：http://blog.goo.ne.jp/omohaku582130